

## 礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

## セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

## 家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族のでいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

# デーヴォ ガイド



**2023.1.2-8**

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

## L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。  
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

## 2日 月曜

### ヤコブ

1:12 試練に耐える人は幸いです。耐え抜いた人は、神を愛する者たちに約束された、いのちの冠を受けるからです。

1:13 だれでも誘惑されているとき、神に誘惑されているってはいけません。神は悪に誘惑されることのない方であり、ご自分でだれかを誘惑することはありません。

1:14 人が誘惑にあうのは、それぞれ自分の欲に引かれ、誘われるからです。

1:15 そして、欲がはらんで罪を生み、罪が熟して死を生みます。

1:16 私の愛する兄弟たち、思い違いをしてはいけません。

1:17 すべての良い贈り物、またすべての完全な賜物は、上からのものであり、光を造られた父から下って来るのです。父には、移り変わりや、天体の運行によって生じる影のようなものはありません。

1:18 この父が私たちを、いわば被造物の初穂にするために、みこころのままに真理のことばをもって生んでくださいました。

1:19 私の愛する兄弟たち、このことをわきまえていなさい。人はだれでも、聞くのに早く、語るのに遅く、怒るのに遅くありません。

1:20 人の怒りは神の義を実現しないのです。

1:21 ですから、すべての汚れやあふれる悪を捨て去り、心に植えつけられたみことばを素直に受け入れなさい。みことばは、あなたがたのたましいを救うことができます。

1:22 みことばを行う人になりなさい。自分を欺いて、ただ聞くだけの者となってはいけません。

1:23 みことばを聞いても行わない人がいるな



ら、その人は自分の生まれつきの顔を鏡で眺める人のようです。

1:24 眺めても、そこを離れると、自分がどのようであったか、すぐに忘れてしまいます。

1:25 しかし、自由をもたらす完全な律法を一心に見つめて、それから離れない人は、すぐに忘れる聞き手にはならず、実際に行う人になります。こういう人は、その行いによって祝福されます。

1:26 自分は宗教心にあついていると思っても、自分の舌を制御せず、自分の心を欺いているなら、そのような人の宗教はむなしなものです。

1:27 父である神の御前できよく汚れのない宗教とは、孤児ややもめたちが困っているときに世話をし、この世の汚れに染まらないよう自分を守ることです。

試練があると誘惑に負けやすいものです。これだけ我慢しているのだから、少しくらい許されるだろう。自分は大変なのだから、周囲も許してくれるだろう。…などと思いやすいものです。

これらの試練は神様から来るのではなく、人間の欲から来ると言っています。自分が誘惑に負けたことを、神のせいにすることはできません。

誘惑に負けないで良い行いをするには、「ただ聞くだけの者」ではなく行うことです。ディボーションも同じです。また「自由の律法」が重要です。自由とは、人に強いられて行うのではなく自発的ということです。主から喜びや感謝をもっといっばいもらって、その応答として喜んで行いましょう。

舌すなわちことばにおいて、困っている人を助けることにおいて、自分をきよく守ることにあって、自発的に良いことをしていきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、

愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 3日 火曜

### ヤコブ

2:1 私の兄弟たち。あなたがたは、私たちの主、栄光のイエス・キリストへの信仰を持っていながら、人をえこひいきすることがあってはなりません。

2:2 あなたがたの集會に、金の指輪をはめた立派な身なりの人が入って来て、また、みすぼらしい身なりの貧しい人も入って来たします。

2:3 あなたがたは、立派な身なりをした人に目を留めて、「あなたはこちらの良い席にお座りください」と言い、貧しい人には、「あなたは立っていないさい。でなければ、そこに私の足もとに座りなさい」と言うなら、

2:4 自分たちの間で差別をし、悪い考えでさばく者となったのではありませんか。

2:5 私の愛する兄弟たち、よく聞きなさい。神は、この世の貧しい人々を選んで信仰に富む者とし、神を愛する者に約束された御國を受け継ぐ者とされたではありませんか。

2:6 それなのに、あなたがたは貧しい人を辱めたのです。あなたがたを虐げるのは富んでいる人たちではありませんか。また、あなたがたを裁判所に引いて行くのも彼らではありませんか。

2:7 あなたがたがその名で呼ばれている尊い御名を汚すのも、彼らではありませんか。

2:8 もし本当に、あなたがたが聖書にしたがって、「あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい」という最高の律法を守るなら、あなたがたの行いは立派です。

2:9 しかし、もし人をえこひいきするなら、あなたがたは罪を犯しており、律法によって違反者として責められます。



2:10 律法全体を守っても、一つの点で過ちを犯すなら、その人はすべてについて責任を問われるからです。

2:11 「姦淫してはならない」と言われた方は、「殺してはならない」とも言われました。ですから、姦淫しなくても人殺しをすれば、あなたは律法の違反者になっているのです。

2:12 自由をもたらす律法によってさばかれることになる者として、ふさわしく語り、ふさわしく行いなさい。

2:13 あわれみを示したことがない者に対しては、あわれみのないさばきが下されます。あわれみがさばきに対して勝ち誇るのです。

貧しい人に特別良くしてあげなさいということではなく、「えこひいきしてはいけません。」ということです。ただし現実的に言って、身なりの良い上品な人には丁寧に接してしまうであろうというのです。

それは神様の価値観とは違います。私たちは人の内面、特に教会ではその人のたましいの状態を第一に考えるべきです。主を求めている人に対しては、そのように必要を満たして差し上げるのです。そこには貧富は関係ありません。

また神様を求めないで、自分の都合や打算で教会に来る人には、主を求めようになるまで待つことも必要です。貧しい方だからといって、神様から離れた目的にまで協力してあげる必要もありません。これもまた貧富は関係ありません。

いずれにしても、人をえこひいきするのは、御心に反することであり、他の「律法」は守っているからといっても、そこをいい加減にはできないのです。

えこひいきしていないでしょうか。だいたい守っているからと、何かをいい加減にはしていないでしょうか。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 4日 水曜

### ヤコブ

2:14 私の兄弟たち。だれかが自分には信仰があると言っても、その人に行いがなければ、何の役に立つでしょうか。そのような信仰がその人を救うことができるでしょうか。

2:15 兄弟か姉妹に着る物がなく、毎日の食べ物にも事欠いているようなときに、

2:16 あなたがたのうちのだれかが、その人たちに、「安心して行きなさい。温まりなさい。満腹になるまで食べなさい」と言っても、からだに必要な物を与えなければ、何の役に立つでしょう。

2:17 同じように、信仰も行いが伴わないなら、それだけでは死んだものです。

2:18 しかし、「ある人には信仰があるが、ほかの人には行いがあります」と言う人がいるでしょう。行いのないあなたの信仰を私に見せてください。私は行いによって、自分の信仰をあなたに見せてあげます。

2:19 あなたは、神は唯一だと信じています。立派なことです。ですが、悪霊どもも信じて、身震いしています。

2:20 ああ愚かな人よ。あなたは、行いのない信仰が無益なことを知りたいのですか。

2:21 私たちの父アブラハムは、その子イサクを祭壇に献げたとき、行いによって義と認められたではありませんか。

2:22 あなたが見ているとおり、信仰がその行いとともに働き、信仰は行いによって完成されました。

2:23 「アブラハムは神を信じた。それで、それが彼の義と認められた」という聖書のことはが実現し、彼は神の友と呼ばれたのです。

2:24 人は行いによって義と認められるので



あって、信仰だけによるのではないことが分かるでしょう。

2:25 同じように遊女ラハブも、使者たちを招き入れ、別の道から送り出したので、その行いによって義と認められたではありませんか。

2:26 からだが霊を欠いては死んでいるのと同じように、信仰も行いを欠いては死んでいるのです。

イエス様の十字架によって罪赦されて永遠の命が与えられたという信仰によって救われます。救いはあくまでも信仰によります。しかし行いが伴わなければ、そのような信仰は本物ではないかも知れません。または救いの確信が不十分で、感謝という動機がないのかもしれませんが。

ですから救われた者は、自分の信仰を確信して強められるためにも、行いを大切に考える必要があります。また良い行いをしようと願うなら、それは肉の力、すなわち意志の強さやがんばりによってというよりも、何よりもまず信仰によって行いをする必要があります。

信仰によって…というのは、イエス様に救われた感謝とイエス様を愛する心、そして十字架の事実によって新しくされたという自己像、さらには救われた者に与えられる聖霊との交わりによって…ということです。

アブラハムの信仰は「行いによって全うされ」とあります。今週も行いによって、信仰を表しましょう。行いによって主イエスへの愛を表しましょう。そして常に、信じるだけで与えられた救いと永遠の命を感謝して、心の動機としていきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 5日 木曜

### ヤコブ

3:1 私の兄弟たち、多くの人が教師になってはいけません。あなたがたが知っているように、私たち教師は、より厳しいさばきを受けます。

3:2 私たちはみな、多くの点で過ちを犯すからです。もし、ことばで過ちを犯さない人がいたら、その人はからだ全体も制御できる完全な人です。

3:3 馬を御するためには、その口にくつわをはめれば、馬のからだ全体を思いどおりに動かすことができます。

3:4 また船を見なさい。あのように大きくて、強風を受けていても、ごく小さい舵によって、舵を取る人の思いどおりのところへ導かれます。

3:5 同じように、舌も小さな器官ですが、大きなことを言って自慢します。見なさい。あのように小さな火が、あのように大きな森を燃やします。

3:6 舌は火です。不義の世界です。舌は私たちの諸器官の中であってからだ全体を汚し、人生の車輪を燃やして、ゲヘナの火によって焼かれます。

3:7 どのような種類の獣も鳥も、這うものも海の生き物も、人類によって制することができます。すでに制せられています。

3:8 しかし、舌を制することができる人は、だれもいません。舌は休むことのない悪であり、死の毒で満ちています。

3:9 私たちは、舌で、主であり父である方をほめたえ、同じ舌で、神の似姿に造られた人間を呪います。

3:10 同じ口から賛美と呪いが出て来るのです。



私の兄弟たち、そのようなことが、あってはなりません。

3:11 泉が、甘い水と苦い水を同じ穴から湧き出させるでしょうか。

3:12 私の兄弟たち。いちじくの木がオリーブの実をならせたり、ぶどうの木がいちじくの実をならせたりすることができるでしょうか。塩水も甘い水を出すことはできません。

3:13 あなたがたのうちで、知恵があり、分別のある人はだれでしょうか。その人はその知恵にふさわしい柔和な行いを、立派な生き方によって示さない。

3:14 しかし、もしあなたがたの心の中に、苦々しいねたみや利己的な思いがあるなら、自慢したり、真理に逆らって偽ったりするのはやめなさい。

3:15 そのような知恵は上から来たものではなく、地上のもの、肉的で悪魔的なものです。

3:16 ねたみや利己的な思いのあるところには、秩序の乱れや、あらゆる邪悪な行いがあるからです。

3:17 しかし、上からの知恵は、まず第一に清いものです。それから、平和で、優しく、協調性があり、あわれみと良い実で満ち、偏見がなく、偽善もありません。

3:18 義の実を結ばせる種は、平和をつくる人々によって平和のうちに蒔かれるのです。

誰かに神様について教える動きをする人は、その責任に応じて神様からの指導があります。大きな影響力を持った人には、「格別にきびしい」基準があるでしょうし、それに反するようであれば神様がしっかりと判定（さばき）をしてください

ます。そこで自分を守ろうと思うなら不安にもなりますが、主の栄光のためと思えば、そのさばきは安心でもあります。主によって正しいだけだからです。

特にここでは「ことばで失敗しない」ということがポイントとして語られています。以下にことばがいかに大きな問題になり得るかが、説得力を持って語られていますから、留意しなければなりません。

ただ気をつければ良いというのではなく、「塩水が甘い水を出すこともできない」とありますように、その人の質すなわち心が決定するのです。逆に言えば、私たちの心が愛に満ちた甘い思いであるなら、ことばは自ずから良いものになるということ。愛を持って、良いことばを語りましょう。

ねたみや敵対心は、自分が優位に立ちたいという「誇り」から生まれます。そして多くの場合、そのプライドによって自分が見えなくなってしまうから、その心の問題に気が付きません。

「地に属」するような価値観から自由になる必要があります。「上からの知恵」によって、私たちの価値観を形成させていただきましょう。「平和、寛容、温順であり、また、あわれみと良い実とに満ち、えこひいきがなく、見せかけのないもの」という思いが、自分自身の人格を造っているのでしょうか。主によって、具体的に吟味していただきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

## 6日 金曜

### ヤコブ

- 4:1 あなたがたの間の戦いや争いは、どこから出て来るのでしょうか。ここから、すなわち、あなたがたのからだの中で戦う欲望から出て来るものではありませんか。
- 4:2 あなたがたは、欲しても自分のものにならないと、人殺しをします。熱望しても手に入ることができないと、争ったり戦ったりします。自分のものにならないのは、あなたがたが求めないからです。
- 4:3 求めても得られないのは、自分の快樂のために使おうと、悪い動機で求めるからです。
- 4:4 節操のない者たち。世を愛することは神に敵対することだと分らないのですか。世の友になりたいと思う者はだれでも、自分を神の敵としているのです。
- 4:5 それとも、聖書は意味もなく語っていると思いませんか。「神は、私たちのうちに住ませた御霊を、ねたむほどに慕っておられる。」
- 4:6 神は、さらに豊かな恵みを与えてくださる」と。それで、こう言われています。「神は高ぶる者には敵対し、へりくだった者には恵みを与える。」
- 4:7 ですから、神に従い、悪魔に対抗しなさい。そうすれば、悪魔はあなたがたから逃げ去ります。
- 4:8 神に近づきなさい。そうすれば、神はあなたがたに近づいてくださいます。罪人たち、手をきよめなさい。二心の者たち、心を清めなさい。
- 4:9 嘆きなさい。悲しみなさい。泣きなさい。あなたがたの笑いを悲しみに、喜びを憂いに変えなさい。
- 4:10 主の御前でへりくだりなさい。そうすれ



ば、主があなたがたを高く上げてくださいます。

戦いや争いの原因を、制度やルールなどの問題にするのが世の中では多いのですが、本当の問題は「からだの中で」すなわち心の中であって、「戦い」を挑む「欲望が原因」なのです。「あなたがた」とありますから、クリスチャンが含まれる人間関係でもそのようなことがあるのです。自分自身も含めて、人々の心の中の欲望を考慮する必要があります。

願って受けられないときは、「悪い動機で願う」からだとあります。人間は何か欲しくなると、何とかして手に入れよう実現しようと、そればかり考えますが、本当に考えるべきことは「動機」です。良い動機で願っているのでしょうか。それは本当に御心にかけているのでしょうか。

大切なことは、「主の御前でへりくだって」いるかどうかで、謙遜になって主の御心を求めているかどうかです。そうすれば「主が…高くしてくださいませ。」

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 7日 土曜

### ヤコブ



4:11 兄弟たち、互いに悪口を言い合っては  
いけません。自分の兄弟について悪口を言っ  
たり、さばいたりする者は、律法について悪  
口を言い、律法をさばいているのです。もし  
あなたが律法をさばくなら、律法を行う者で  
はなく、さばく者です。

4:12 律法を定め、さばきを行う方はただひと  
りで、救うことも滅ぼすこともできる方です。  
隣人をさばくあなたは、いったい何者ですか。

4:13 「今日か明日、これこれの町に行き、そ  
こに一年いて、商売をしてもうけよう」と  
言っている者たち、よく聞きなさい。

4:14 あなたがたには、明日のことは分かりま  
せん。あなたがたのいのちとは、どのような  
ものでしょうか。あなたがたは、しばらくの  
間現れて、それで消えてしまう霧です。

4:15 あなたがたはむしろ、「主のみこころで  
あれば、私たちは生きて、このこと、あるい  
は、あのことをしよう」と言うべきです。

4:16 ところが実際には、あなたがたは大言壮  
語して誇っています。そのような誇りはすべ  
て悪いことです。

4:17 こういうわけで、なすべき良いことを  
知っていながら行わないなら、それはその人  
には罪です。

兄弟姉妹を悪く言う人は、たいい自分はその  
人よりもましと思っています。そのような思いは人  
を評価していることで、聖書で言う「さばく」とい  
うことになるのです。

ここにあるように「さばきを行う方は、ただひと  
り」神様だけですから、私たち人間に人をさばく権  
利はありません。

謙遜になる必要がありますが、それには自分は  
「あすのことはわからない」との認識が大切です。

自分は今はよくできていても、明日にはどうなる  
かわからない。すべては主のみこころだという認  
識です。

これらも含めて、なすべきことをしているかど  
うかも、考えてみる必要があります。自分は間  
違ってない、しっかりやっけて批判されるよ  
うなことはないと思っけていても、なすべきことが  
他にあるのに、それをしていないのかもしれない  
のです。

教会も家庭でも職場でも、きっと他の人が様々  
な役割を担ってくれているから、私たちの働きが  
生きているのです。自分で責任の範囲を決めてしま  
って、自己弁護しないようにしましょう。謙遜  
になって、自分の及ばないところを担ってくれる  
人に感謝しましょう。また主に祈って、なすべき  
なのに気づかないことがなかったか、聞いてみま  
しょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の  
約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願  
いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのど  
の部分の主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 8日 日曜

### ヤコブ



5:1 金持ちたちよ、よく聞きなさい。迫り来る自分たちの不幸を思って、泣き叫びなさい。

5:2 あなたがたの富は腐り、あなたがたの衣は虫に食われ、

5:3 あなたがたの金銀はさびています。そのさびがあなたがたを責める証言となり、あなたがたの肉を火のように食い尽くします。あなたがたは、終わりの日に財を蓄えたのです。

5:4 見なさい。あなたがたの畑の刈り入れをした労働者への未払い賃金が、叫び声をあげています。刈り入れをした人たちの叫び声は、万軍の主の耳に届いています。

5:5 あなたがたは地上でぜいたくに暮らし、快楽にふけり、屠られる日のために自分の心を太らせました。

5:6 あなたがたは、正しい人を不義に定めて殺しました。彼はあなたがたに抵抗しません。

5:7 ですから、兄弟たち。主が来られる時まで耐え忍びなさい。見なさい。農夫は大地の貴重な実りを、初めの雨や後の雨が降るまで耐え忍んで待っています。

5:8 あなたがたも耐え忍びなさい。心を強くしなさい。主が来られる時が近づいているからです。

5:9 兄弟たち。さばかれることがないように、互いに文句を言い合うのはやめなさい。見なさい。さばきを行う方が戸口のところに立っておられます。

5:10 兄弟たち。苦難と忍耐については、主の御名によって語った預言者たちを模範にしなさい。

5:11 見なさい。耐え忍んだ人たちは幸いだと

私たちは思います。あなたがたはヨブの忍耐のことを聞き、主によるその結末を知っています。主は慈愛に富み、あわれみに満ちておられます。

神から離れていても、富があることによって安心しきっている人に、警告を与えています。富を人生の優先順位にしていると、どうしても自己中心な生き方になってしまいます。

「地上でぜいたくに暮らし、快楽にふけり、殺される日にあたって自分の心を太らせました。」と言われているのは、一部の金持ちのようですが、もしかしたら現代の富める国々も当てはまるかもしれません。または6人に1人と言われる子どもの貧困がありながら何もしない日本の大人たちかもしれません。何ができるかこの際考えてみる必要がありそうです。

この世の自己中心主義的な価値観の中で、神様の真理と愛の価値観で生きるのは、大変なこともあります。しかし忍耐して主のみわざを待つなら、必ず主は信仰に答えてくださり、幸いへと導かれるのです。ヨブなどがその証しです。

そこで私たちは謙遜になる必要があります。何でも自分の力でやっている、だから自信を持って約束するということではなく、主の御心ならばそれができるという謙遜さです。安易な目論見によって先のことを考えるなら、その報いを「さばき」のように招くことになるのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

